（年中無休刊）　大正八年三月二十日　THE KEIJO NIPPO　（休刊日ハ毎月一日、十一日、二十一日）　第四千百二十一號（一）

京城日報

三月十九日夕刊（朝夕併せて八頁）

第四十一回帝國議會 貴族院本會議（十八日）

（朝刊に續く）阪谷芳郎男爵質問の（續き）然るに最近に於ける一大陸全滅の如き戰爭を今尚續しつゝあるは如何之れに對し（原首相目的の一半は達したるも英米等も今尚軍滅亡に關する法律案柳澤伯爵委員長之に應へ次に大麥、小麥粉の輸入稅

○花の巴里郊外に近し 「勘掠の地」

デヴアステーラット・エーリア

嘗マルヌ戰跡巡遊記(一)

奉天特報記者 上田碩三

(巴里にて二月四日記)

破壊されたる巴里の近郊(三勇士の墓(右端))

慘たるヴオーよ

破壊されたる此村落には老佛人に使役さるゝ、獨逸捕虜數人の外全く人影を見なかつた

花を待つ淋しき野の勇士の墓

ベローの爭奪戰は昨年六月六日に始まり同じく廿五日迄續くにして米人の占領に歸した、其の間恰も佛人戰死者のそれである、大尉の說く所に依れば

◇行旅に病む人々

その哀話の一

奉天特報記者 上田碩三

(巴里にて二月四日記)

軍隊の普通行軍を以てするも僅一日の行程に足らず!!

▽行旅病者が

▽憂鬱な一生

▽夏の大雨で

▽日毎の悲み

▽冷めたい屍

重なる不幸

○畳一枚に三人以上

適當な借家を建てゝ欲しい

この苦しさは京城が世界一?

○四驅逐艇來る

○飛翔中の飛行機へ無線電話

○牛壤被告重し

○賭博に貧けて

○京中の見學遠足

○平壤檢擧六百餘

○電車大脫線

○京城全部の開校近し

○記者採用

◇井萬人に

◇此影響

▲慶北安東

▲連絡船上陸客

○彼岸會

○寺に來れば鐘が鳴つてをる彼岸

○白米値下げ

○獨立歌を高唱

▲咸南永興

▲マルヌ戰

○獨逸捕虜が老いたる佛人に使役せられて

○行旅病者が

○行旅に病む人々

○畳一枚に三人以上

○四驅逐艇來る

○飛翔中の飛行機へ無線電話

○牛壤被告重し

○賭博に貧けて

○京中の見學遠足

○平壤檢擧六百餘

○電車大脫線

○京城全部の開校近し

○記者採用

◇井萬人に

◇此影響

▲慶北安東

▲連絡船上陸客

○彼岸會

○寺に來れば鐘が鳴つてをる彼岸

○白米値下げ

○獨立歌を高唱

▲咸南永興

▲マルヌ戰

○獨逸捕虜が老いたる佛人に使役せられて

演藝案內

有樂館

大活劇 大なる犧牲 全三巻

人情劇 浮世 全三巻

此姉妹 全五巻

悲劇 子守唄 四巻

活劇 鐵道王の娘 全二巻

浪花館

活劇 大蛇のお蝶 全五巻

文樂座

活劇 大正館

喜劇 田舍娘 全二巻

アルスター事件

有望職業

美味なる 虫下し 最良藥

東洋自動車協會

開校 京城全部の

元朝 鮮總督府 警視 境喜明儀 昇

大連便

◆滯貨　滿鐵沿線に於ける滯貨は現下の一大問題にして同社は之れが排除に極力努め居れるが現在の事情已むを得ざる過ありと雖今後滿洲產業の發展は滯貨を極むべきは瞭然たり且つ吉會線四郎延線及至間島線等の全き線路を見るに至らば現在の一軌線のみにては到底之れを指揮するを得ざるべく遠からず水運を利用するとは勢の然らしむる處にして滿鐵當局も既に之れが對策に着手し一般の歡迎する處なるべし

◆滿荷　本年は比較的溫暖にして既に二回の降雪さへありたるも左なきだに滿鐵各驛共滿貨夥しく主等の苦慮甚だしき折柄にて一昨年念の度を期の居れるに因り滿鐵にては滿洲各驛の特產物が慶興羅津を經由する如きことありては此の上もなしとて雨季前に滿洲驛に防雨防水用として枕木五十萬本を配付して特產物の下壓さなし大抵の出水にては被害なからしむべく大いに努め居れり

◆誘引　山東鐵道は顧客誘引策として去る大正五年以來例年二月より四五月に渉り滿鐵安東縣に於ける木材を視察と共に滿鐵沿線の市街は從來何れも小規模なりしが本年度に於ける遊覽定員數は最近滿鐵の調べによれば二萬九千名餘なりと

◆水道　大連水道の現在の給水量は最大限十二萬人に充つる水量あるも市の人口は激增一方にて毎年の給水量には一寸迫を感ずるに至れり而して此二萬年の夏季するに過ぎず市當局は市街の發展を察し第二期工事に着手し目下鋭意之れが計畫中なりと

◆病院　關東都督府は八年度新設費として公醫派出所に於ける醫員一名の外新に公醫一名を增置し管內各病院に附屬看護婦養成所の設置を計畫し管內各病院に一般醫院の設置に着手し管內各病院に附屬看護婦養成所の設置を計畫し管內各病院に一般醫院の設置に着手し管內各病院に附屬看護婦養成所の設置を計畫し管內各病院に一般醫院の設置に着手し

鴨江材の前途

悲觀說…樂觀說

歐洲戰亂の好影響を蒙りたる鴨綠江材は一昨年來より昨年を通じ南滿洲、朝鮮及び上海方面に於ては殆んど獨り占の有樣なりしも以て安東、新義州に於る木材業者は獨に意外の利潤を得たるのみならず年和克復の曉に於ては從來の不況を倍加する處なるが年和克復の曉を期せんとする今日戰線江材の前途に就き當業者間に於ては悲觀說樂觀說の二說あり其說明に就て苦心慘憺たるものあるべきが其樂觀說を稱ふるものは曰く歐洲戰後經濟界の動搖に伴なひ木材界も其打擊を蒙るべきは當然の歸結なるべきも今直ちに其大打擊を蒙るべきは其の原因結果に於ては同一の理由の比較的多いのは當然の事であらう云々と赤裸々の悲觀說を唱ふるもの云々と赤裸々の悲觀說を唱ふるもの

生徒一人の費用は

幾何を要するか…仁川…各地比較

◎鷲口瘡と物資　江華

◎保護牛檢查（江華）

◎朝鮮各學校組合の負擔すべき

◎長春の町名　日本式に命名

◎滿洲の旅　遼陽より……　老禿生

◎仁川市場

◎東京株式特電

◎東京聖米中值

◎東京期米特電

◎大阪株式特電

◎大阪二品特電

◎大阪期米特電

◎神戶期米特電

◎雜報

◎正米引續軟弱

◎京城在庫穀物

◎玄米三千餘叺減少

◎白米七千餘叺減少

◎毛斯綸續騰

◎洋蠟依然不振

◎反撥は望み難し

◎白米尚下押し

◎前場概況

◎米穀取引所

◎仁川米豆取引所

◎仁川期米

◎仁川現米

◎仁川株式

◎仁川豆粕

◎仁川綿絲

◎仁川綿布

◎仁川雜穀

◎仁川市場

◎仁川雜品

◎仁川株式

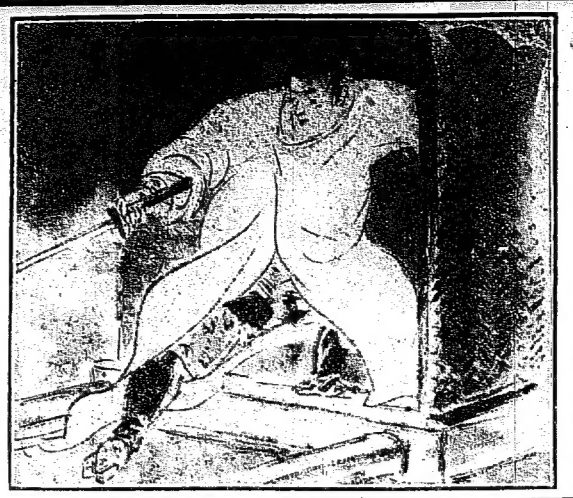
◎仁川米豆取引所仲買人

◎仁川米豆取引所仲買人

◎仁川米豆取引所仲買人

毛谷村六助 卅六番角力

百七十五席　桃川　桂玉口満
　　浪上義三郎連



明の兵は日本軍の談判を聞いて、假へ他な軍勢でも、僅て日本軍は強いといふことを承知して居りますし、日本軍が三百人討死すれば必ず、吾軍にも三百や五百の戰死者は出來る、素より吾々の役目は兩王を取返すだけのことであるから、彼が云ふまゝにして王子を受け取つて通して遣らうと思ひまして『然らば通れ』と右樣うござゐます』と挨拶をして此の龍ヶ通り拔けて進みました、高地に在つて麻背將軍韓明久は遙に此の態を見て居りますと、中に背居能く欺き遂せたにベロリと舌を出して笑つた者があつた、それを銀明久は見て『銀』オヤツ、これは怪しい呼び止めろ』吉村は大きに驚きまして『吉』イヤ、誰だつまらぬことをしたのは……』愈〻下方がお出でになつて下さらねばいたし方がござらん』云ふより早く一刀を引拔いて銀明久の傍へ詰寄つた銀明久大いに驚き『銀』苦しうない通れ〳〵』漸う三百人は虎口を逃れて雲を霞と竟け出して此處を通り過ぎてしまひました、スルと銀明久は路の中央に据ゑてある輿の傍に進み寄り、兩手を拡へ『銀』はゝゝは王子に渡らせまするか、嘸かし御不自由なことでございましたらう、吾は大明の萬曆大王の家臣麻背將軍銀明久と申する者にございます、御父君李昭天王より御伏龍を受けまして、此處へお迎ひに參りましてございます、ア如うでお出ましあらんこと恐れ奉ります』と輿の前なる扉をズツと捲り、中をヒヨイと覗いた時ヤツ、と掛け聲諸共、四尺に餘る陣刀にて扱き樂に横に拂つた、銀明久の首級はコロリと北處へ落ちてバツタリ仆れた、ヤ彼を以て破れるだけ大明の軍勢を破つて蔚山へ向はうではないか、若し叶んやうなれば一統討死しようと思ふが何うだ』吉『背田、それは叶ぬ、何を云ふにも僅三百人の小勢、明兵大明の大軍に對つゝ然し御主君はあの通りの大將なれ處が切り拔けられる見込みは無い、ば、何處迄も此處に滯在して時を待つて此處に龍城なる方へドン〳〵逃げ出しました、今一方が開いたら幸ひに、背田孫兵衛は眞先に進んで日本軍の跡を慕つてドン〳〵、逃げ出しました、さう〳〵一里ばかり逃げ延びて來ると吉村の軍勢は其處に待つて居ましたので『何うした背田』孫兵衛は愚にくれました

次回講談豫告

多大の軍勢を引率して援軍に來りた毛谷村六助三十六番角力

を面白く申上ます事に致しまして、近く人氣の講談師の連續物

日本鉾刀傳

甲遠南龍講演

を掲載する事ゝなりましたが、未だ講談が如何に面白く講演せらるゝかはもとより世間のうけられるのものは大に其の内容を異にせる點に於て本社の特に誇りとする處なり敢て手前味噌を竝ねや乞ふ掲載の日を待たれよ

◎長春小學校

長春小學校の本年卒業生は男女各二十名、（高等科男子十一名、女子十名）にて高等科は二三名が除外全部高等科へ入學すべく、卒業生にて中學校へ入學の者は三名、商業學校は四名あり女生にて女學校へ入學するは二名にて大多は當地實科女學校へ入學する筈なりと報高等科卒業女生中に女職新聞記者の娘にて學藝會と云ふ少女あり、て卒業と共に日本の師匠學校に入學したしとの事を聞き居れるが同人は尋常一學年よりの本年卒業生八名中最も小柄後に選ばし他の女生さも常に仲好く自ら社交子さ日本の姓名を名乘り居る程精は日本の姓名にて記入し居たる程にて一異彩を放ち居たりしが本校にても斷く八箇年間を完全に卒業したる支那少女は同人を以て嚆矢なるさ共に誠に珍らしき事ゝ云ふべし（長巻）

二月廿一日

（前二月二十日）

▼六白▲注意に注意を加ふべき日▼七赤▲親しみのある人なつかしき日なれど飲酒にたづさはる不可▼八白▲萬事なる日恐らく此日は一日怠惰に仕事の出來る日ならん▼九紫▲更に角のやゝやゝに終る日也▼一白▲當日の出來事の日にして何事も自ら進んで之をなすに利あり▼二黒▲慎しき日にて而も笑く暮せる日なれど注意すべし▼三碧▲待て注意の向かぬ日なり▼四綠▲ちよく〳〵さ行かぬ日なり▼五黄▲花やかなる美しき日にて萬事を行はゞ必ず纏いあるべき日

◎ぬり藥だけでは毛は生へぬ

博士大家の審査名譽の一等賞金牌受領せる本藥は生來の毛の生へる事請合にて毛の脱落、腫物、頭病、禿、白毛、赤毛、縮毛、其の他一切毛の惡き人も用ゆれば必ず美しき毛生へる事請合

三博士の審査一等賞金牌

毛生へる藥

本場大島紬月賦販賣

電話又は葉書にて御用命被下候へば店員參上御相談可申上候但し京龍仁御在住の御方に限る

大島紬元

勝久商店 東京市日本橋區通一丁目五番地（電話本局一九〇番）

勝久支店 仁川本町（電話一九〇番）

眼科專門

京城南山町（電話一二四四番）

江頭眼科醫院 江頭富雄

種苗肥料卸商

最良花壇苗

北島藥店 北島藥店支店

京城本町（電話三四・三五番）永樂町（電話七八一番）

仁川本町

スワン石鹸

優佳艶麗なるは池のスワン
優逸純良なるはスワン石鹸の質
池のスワンは浮鳥の王、實に!!
スワン石鹸は浮石鹸界中の王也

製造元　日本リーバー・ブラザース株式會社

赤玉ポートワイン

七大醫學博士の實驗と證明を有する美味滋養の葡萄酒

最良は決して二つ無い!!

島田藥學博士赤玉を推賞して曰ク

美味滋養の葡萄酒赤玉ポートワインは普通甘味酒の如く過度の甘味を有せず醇甘宜しきを得其味寔に掬すべく之を予の家族に飲用せしむるに結果頗るよろし而して他の不良酒に於て見る如く消化器を害する事なく從てフーゼル油及其他の有害性物質を含有せざるを以て藥用酒として當今第一の葡萄酒である

◎近來類似品輩出す時に赤玉に御注意

安眠の出來ぬ人

夜の二時、三時の時計が打つてもまんじり眠付かれや何ごなく頭の重い方は腦神經衰弱の人であるこんな人は血の巡りを良くし肉を增す美味で滋養の葡萄酒赤玉ポートワインを朝夕欠さず召上れば必ず心身ごも愉快に元氣に回復出來る

色艶をよくしたい人

これさいふ病氣は無くも大體顏色のよくない人手先の常に冷える人は血の巡りをよくし肉を肥す美味滋養の赤玉ポートワインを召上れ殊に產前產後の婦人が赤玉ポートワインを召上る事は體を温め血色を良くするに非常な効果がある

劇務で疲れる人

終日心身を勞され劇務に追はれる人は飲んで二倍の元氣の出る美味で滋養の葡萄酒赤玉ポートワインを朝夕召し上るに限る。赤玉ポートワインは疲勞を醫するのみならず血を增し肉を肥す事は七大博士の實驗に依ても明瞭でございます

互光商會廣告

◎元山西湖、城津、清津行
三門司、宇品、鰺戸、大阪行
第一共同丸　三月下旬　日本郵船出帆
第二共同丸　三月下旬　日本郵船出帆

共同汽船出帆

芝罘大連行
第一共同丸　三月十八日午後入港　三月十九日直行
第二共同丸　三月十八日午後入港　三月十九日正午出帆
第十共同丸　三月十八日午前入港　三月十九日午前出帆
大連直行
第二共同丸　三月十六日午後入港　三月十七日正午出帆
第十一共同丸　三月十六日午後入港　三月十七日正午出帆

日本郵船出帆

大連、大沽行
高砂丸　三月十一日正午出帆
大連、大沽、牛莊行
長崎丸　三月廿一日正午出帆
鄙會ニヨリ早發スル「アルベシ」
仁川釜山間連絡船

(一)　第四千百二十一號　(明治三十九年八月廿日第三種郵便物認可)　THE KEIJO NIPPO　大正八年三月二十日　(年中無休刊)

京城日報

第五版

朝鮮の德育

朝鮮の教育は、將來の……に關する……之を進むべきかは……朝鮮統治上非常に……なる問題なり。特に道德的觀念に缺ける一層重大なるを感ず。固より德育の根本には、古今中外を貫通する教育勅語の儼存するあり何等……を挾むべきなしと雖も、勅語の御趣旨は大體の標準を示させたまへるものにして、實際これを運用する場合に當り、當事者の思慮を費すべきの多きは論を俟たず。例へば內地に於ける教育を見れば、忠孝一本の旨義に依り、數千年來傳統の國民性を陶冶するを目的とし、固りて以て善良なる國民を養成し得べしと雖も、今此の旨義を直ちに朝鮮に轉用して、果して適當するのなきを得べきか、或は少くとも之を以て良好なる成績を奏するを得ざるの疑ひなきを得ざるなり。蓋し如何なる國民と雖も、其の歷史を離れて立ち得べきものにあらず。若し朝鮮をして內地と同一なる忠孝一本の旨義に依り、數千年來傳統の國民性を陶冶するを得べしと雖も、歷史あり、几つ文化の程度……に在るを免れず、一時は內地と同一なる……以上の階級に在りしと雖も、今ここに……歷史上疑ふべきの餘地あるなし。一國の民衆を教育するに當り、種々の複雜なる事情を考慮するの困難あること、當事者の既に經驗せし所なるべし。今日經綸家、教育家の口頭に常用せらるる「同化政策」なる言葉は、勿論大切のことにして、早晩之を實現せざるべからざるも、それには相應に長き歲月を要し、早急に効果を擧げんとせば、却つて事を仕損ずるの憂ひあるべし。忠孝一本主義は日本道德の根本思想なるも、それは數千年間漸次變り來り、國民の衷心に燃ゆる情熱に融澈するものにして、今日直ちに此の思想を朝鮮に實現するも彼等の道德的要求と相一致する能はず。蓋し朝鮮は古來支那の思想を、殆ど其まゝに受け納れ、且つ支那と同樣、屢次革命の歷史を有するを以て、忠の觀念は甚だ薄弱なりと雖も、之を以て事を仕損ずるの憂ひあるべし。

……は、全く猫に小判の感なきを得ざるべし。……にして上……ればならず。是れ此の問題の……困難なる所以なり。

凡そ教育は被教育者の根柢に……じて施されざるべからず。故に大聖釋迦にすら五時八教の區別あり。內地人に對して忠孝一本主義に依り教育するは、即ち上根者に對する教導なるも、根機の未だ熟せざる朝鮮人に對しては、內地人同樣の效果を擧むは無理の注文なり。大乘根に向つては大乘を說くべきも小乘根に向つて大乘を說くも馬耳に念佛なり。朝鮮人は忠孝一本主義の大義觀念を受納るの根機に熟せざるものと見、暫く小乘的說法に依るの外なるなし。然らば如何なる思想を以て暫定根機とし、如何なるべきやと云ふに、吾人は英佛の道を以て根本義と爲すの頗る宜きに適したるものなるを考ふるなりやうなる迷妄に醒されるの。孔等の心持は言はずもがなの……切字の……揭載ではなかつた。之を今の……いふなら……切は內容の……個の……因子に依つて保たるる俳句妻帶內緣一の……である。

俳句の發達

（十）

烏堂

（八）根本性（續）

芭蕉が之を寂さびいつたのは、芭蕉の……極醜……の理想と見……時代の現實反……や、狹義に……ないが、……ることなく……句中の……に……句の……ものである。所謂……ま……ものではない。……は……ものである。……ものである。……ものである。

◇石井大使 演說輿論喚起

日本聯盟不加入と決定せば

日本聯盟に於て試みたる石井駐米大使の演說は異常なる注意を喚起し米國新聞紙は擧げて之れを論じ上院兩巨頭も亦遖に論評を試はせり尙帝國ホテル（晩餐）の席上に於て石井大使は左の如く演說せり（京城電話）

英國は同盟の情誼上聯盟原案を握り潰すの外無かる可しと言ひ又上院十議の一人は之れ米國政府の態度を來すものにして日本が聯盟不加入を實行せば日露獨の結合に依り世界戰爭再現せんとする危險ありと切論せり（京城電話）

◇土地問題不提出

米國のリフオルニヤ州に於ける外人土地所有禁止法改正案は今期議會に提出せざることゝなれり（京城電話）

◇國際勞働案經過

講和會議に於ける國際勞働委員會は十五日午前第二十三回の會合を開き米國勞働委員長サムエル、コンパース氏の議長に就き講和會議に提出すべき勞働憲章を作成したる後伊太利の代表者其他より移民法の改正を希望する意見を述べたるも右は別に提出せられたるも右は別に提出せられざる事となれり又少年婦人勞働者を國際勞働法により保護すべき一般的規則を制定すべしとの提議ありたるも之れ亦各國輿論により其の採否を決するを可とし否決せられたり尙ほ第一回國際勞働會議に於て即會する事は可決せられ又國勞働委員會より提出の勞働局組織及立の上同局の審議に附せらるゝ事となれり（巴里電報）

◇支那委員打電

在巴里支那講和委員は南北和議促進の希望を北京政府に打電したりと云ふ（巴里電報）

◇獨逸貿易管理

佛國外務省和委員タルデュー氏は聲明して曰く獨逸は大部分貿易の自由を許容せらるべし五大國委員會の意嚮より推測するに聯合國は獨逸の信用を聯合國の管理下に置き其の取引に對する監督權を保有したる上獨逸に對し即刻其の輸出貿易を再始することを許容せんとするものゝ如し併し併し是は一方に於て獨逸をして賠償基金を調達せしめ他方に於て獨逸をして不當なる貿易競爭をなさしめざらんとする兩樣の目的に出でたるものなり（巴里電報）

◇智利抑留獨艦

十一萬噸を米國に引渡す

國務省の聞知する處によれば巴里講和會議は智利に抑留中の獨逸艦十一萬噸を米國に引渡せりとこれに關し管理長ハーデン氏は曰く右分配の條件は船舶の狀態如何により協否を決すべきものなりと（紐育電報）

◇過激派軍前進

露國なる軍艦を有する過激派軍はオデッサ、ヴンニツアに前進中なり（倫敦電報）

◇寺伯病氣輕快

東洋汽船配當

東洋汽船會社は三月十八日重役會議にて三割を決せり（東京電報）

◇安東居留民會

安東居留民會は十九日午後一時會席次抽籤の後議長の選擧あり成田昭次氏當選して會頭の挨拶ありて第一議案より第六議案迄を朗讀後附託に決し午後五時散會せり（安東特電）

◇東洋汽船配當

東洋汽船は四月以後倫敦と松ヶ羊毛の運賃を發すべしとの說あり目下日本郵船會社に於て其の處置を見つゝあり（東京特電）

◇貨物主任會議

京城鐵道管理局にては十七日より金山驛に於て貨物主任を同局に召集今回の貨物運輸上に就き打合する所ありしが十九日も尙引續き開會する所ありたり因に同會議は來る四月一日より新に設けらるゝ貨物運輸擴張に關する打合せをなすべしと

◇米價の變遷

人氣依然浮動

▲買方の慘狀　所謂黑幕の米價は本國より來る邊の米穀市場に於て明正と將た外米と關無く急激なる變動を現はし殊に京城退潮の四邊路に於ては解合は殆んど多くは賣氣に乘じ賣方は多く携手して賣方の面前を受けしに等しく慌てゝ斯る場合の例なき即米價の一般の安値を附し當中明り夫々賣氣を呼び賣方に於て熟慮せるに拘らず事情ありて調節せざりし場合は解合行はれしも

○祭資と祭粢料

一年數十萬の下賜

△比較論議　するに至るも自然免れ難き處であつて斯ては聖恩に厚薄を生ずるかの如き觀を呈し其だ面白からぬ次第であるから云ふ理由の下に今後一切其の内容は公表されない事に決定された尚ほ祭資と祭粢料との二つの區別は恐らく數十萬圓に達するであらうと思はれる而して斯うした賜金の樂請に就ては高等官の取扱ひ上自ら一定の標準内規があつて然任官には何れだけ又その退官者の内官には何れ位閲歴その他の事情を參酌し高遊の漏なきを期するは勿論のことであるけれども其の卿下賜金額が公表されると世間では單にその金員の多少に依りて甲乙を

△巨額に上り　一年中には恐らく數十萬圓にも達するであらうと思はれる而して斯うした賜金の樂請に就ては高等官の取扱ひ上自ら一定の標準内規があつて然任官には何れだけ又その退官者の内官には何れ位閲歴その他の事情を參酌し高遊の漏なきを期するは勿論のことであるけれども其の卿下賜金額が公表されると世間では單にその金員の多少に依りて甲乙を

△神酒の料　唯ち死者の靈前に奠供する供物の料と云ふ程の意義であるのであるが尋ふ間の慣例ある事とて今急に改むるとはいかぬ一寸困難な事情もあらうけれども追つては何方か一方に決められる事になるであらうといふ話である

△比較論議　するに至るも自然免れ難き處であつて斯ては聖恩に厚薄を生ずるかの如き觀を呈し其だ面白からぬ次第であるから云ふ理由の下に今後一切其の内容は公表されない事に決定された尚ほ祭資と祭粢料との二つの區別は恐らく數十萬圓に達するであらうと思はれる而して斯うした賜金の樂請に就ては高等官の取扱ひ上自ら一定の標準内規があつて然任官には何れだけ又その退官者の内官には何れ位閲歴その他の事情を參酌し高遊の漏なきを期するは勿論のことであるけれども其の卿下賜金額が公表されると世間では單にその金員の多少に依りて甲乙を

△神酒の料　唯ち死者の靈前に奠供する供物の料と云ふ程の意義であるのであるが尋ふ間の慣例ある事とて今急に改むるとはいかぬ一寸困難な事情もあらうけれども追つては何方か一方に決められる事になるであらうといふ話である

○續々放還されん

鮮人妄動事件と檢事局の方針

京城地方法院檢事局に於ては今回の騒擾事件は普通事件さは自ら其の趣を異にするものなれば單獨の處分を以て臨むの外なしとの方針の下に一昨日來檢事總出にて協議中なりしが其の結果愈〻放還を決したるものゝ如し

▼教育者　に對しては最も適當なる方法を以てせば四年位は容易に目的を達し得べしと

○宿舍教育の唱道

平岡刀自今回の蹶起は鮮人騷擾からの思立ではない……

拜觀者談

十九日朝刀自について其の人物の一つである刀自の今回の事變たるや實に驚くに餘りある次第で今回鮮人の暴動が惹起せられたに就ては是が爲に思ひ立たれたものゝ如く或は是が爲に思ひ立たれたものゝ如く或は是が爲に思ひ立たれたものゝ如く或は

と子

（百三十六）

北島春石作　森田久畵

難題（一）

もなくてあつたが、やがて徐ろに口を開いた。

『君は何うして志保子を知つてるかね。』

『この四五年以來、兄の醫業が餘り振はず、高松邸の門内へ出入してゐた關係で、彼の大金を奪つて何處ともなく逃亡しました。』

『佐久間……』と直樹の視線はいきなり、鋭く證一の面上にそゝがれた『ふゝむ、さう名乘られると何處となく佐久間醫造に似て居るやうでもあるが、その弟でもあるのかな。』『はゝ左樣ですと、證一は身を正しくして『實は兄の事情が多少のお疑惑があるかも知れませんが、僕は兄と違つて志保子さんの味方なのですから、その點だけは能くお含みを願ひたいと存じます。』

『何有、その用件も聞かぬ先から疑ふべき筋もないが……志保子の件で來られたやうぢやな。』

『是非とも先生のお助力に縋らねばならぬ事が出來ましたので……』

『さうか、何にせい、まづ話と云ふのを聞かうかい……お互に佇つた儘でも居られんで、茶屋ではあるが上つて貰はう。』茶客より一足先に縁に上つた直樹は、おいでを遣つて『ちよつと其處まで散歩に出掛けたが、最前から貴女は來て居られたのか。』

『はい、お嬢樣のお相手を……何か御用があれば、御遠慮なくお喚なすつて下さいまし。』

『今は別段用事してもないが、暫らく幸枝を彼方へ。』

『宜しうございます。』と呑込みも早く『さあ、お嬢さん、あちらへ行つて金絲鳥に唄をやりませう。』と幸枝の手をさつて『貴方御ゆるりなさいまし。』と、おいでは證一にも挨拶して立去る。

その跡には主客のみが取殘された。

寂寥の机に片肱突いて、靜かに望遠鏡を覗つゝ、暫時何事か考へ込んでゐた直樹の面には、一種の動搖をしのばしめ本邦稀……

（巡査部長の試驗）

○奇問珍問百出

巡査部長の試驗

▲働か大嫌ひの者も試驗を增加しては來て呉れと何うやら增員しなければならない巡査部長は增員しなければならない大阪府では今回巡査部長の試驗を增加したが之れと同時に自身の部長も增員したので府警察部では目下監察官の木村察視が主任となり

◇實務を　ば縫原警視と前川警部さんが擔當して實地試驗中いるが此三試驗官は奇拔を以て聞えてゐる人なので試驗問題も從つて非常に奇拔で受驗者は何れも何處にも入つて行く、それで其間の一例を擧げると『若し子供が溺死したら何うするか』なぞと云つて來ゐ、之に對し

◇一警官　は『夫は今誰か拾つて雷に返してやつたよ』と言ひ『さう答へて及第點を貰つたさうで此他にも『猿が人間より毛が二本足りないのは何故か』なぞと急出で急奇なる問題が多く和田辰雄士が高等文官試驗の時に遜して受驗者を悩に卷いたにん穿らぬ奇問珍問が續出してゐる（ロ今日の御馳走）

▲十六日夕刊讀賣新聞

◇豚味噌油　豚の肉を角に切り、醬油、味噌、酒、砂糖を入れて煮る

◇若菜蒸し　菠薐草、蒲鉾、鶏肉、四五切れを入れて煮る

◇一品料理　一人前の料理を一皿に盛つて出すのをいふ

◇一汁三菜　一汁は吸物、三菜は香の物、煮物、焼物

◇一汁五菜　一汁は吸物、五菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物

◇一汁七菜　一汁は吸物、七菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物、吸口

◇一汁九菜　一汁は吸物、九菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物、吸口、猪口

◇一汁十一菜　一汁は吸物、十一菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物、吸口、猪口、鉢肴

◇一汁十三菜　一汁は吸物、十三菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物、吸口、猪口、鉢肴、強肴

◇一汁十五菜　一汁は吸物、十五菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物、吸口、猪口、鉢肴、強肴、箸洗

◇一汁十七菜　一汁は吸物、十七菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物、吸口、猪口、鉢肴、強肴、箸洗、口取

◇一汁十九菜　一汁は吸物、十九菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物、吸口、猪口、鉢肴、強肴、箸洗、口取、硯蓋

◇一汁二十一菜　一汁は吸物、二十一菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物、吸口、猪口、鉢肴、強肴、箸洗、口取、硯蓋、台引

◇一汁二十三菜　一汁は吸物、二十三菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物、吸口、猪口、鉢肴、強肴、箸洗、口取、硯蓋、台引、組肴

◇一汁二十五菜　一汁は吸物、二十五菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物、吸口、猪口、鉢肴、強肴、箸洗、口取、硯蓋、台引、組肴、與肴

◇一汁二十七菜　一汁は吸物、二十七菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物、吸口、猪口、鉢肴、強肴、箸洗、口取、硯蓋、台引、組肴、與肴、進肴

◇一汁二十九菜　一汁は吸物、二十九菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物、吸口、猪口、鉢肴、強肴、箸洗、口取、硯蓋、台引、組肴、與肴、進肴、後段

◇一汁三十一菜　一汁は吸物、三十一菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物、吸口、猪口、鉢肴、強肴、箸洗、口取、硯蓋、台引、組肴、與肴、進肴、後段、肴

◇一汁三十三菜　一汁は吸物、三十三菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物、吸口、猪口、鉢肴、強肴、箸洗、口取、硯蓋、台引、組肴、與肴、進肴、後段、肴、肴

◇一汁三十五菜　一汁は吸物、三十五菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物、吸口、猪口、鉢肴、強肴、箸洗、口取、硯蓋、台引、組肴、與肴、進肴、後段、肴、肴、肴

◇一汁三十七菜　一汁は吸物、三十七菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物、吸口、猪口、鉢肴、強肴、箸洗、口取、硯蓋、台引、組肴、與肴、進肴、後段、肴、肴、肴、肴

◇一汁三十九菜　一汁は吸物、三十九菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物、吸口、猪口、鉢肴、強肴、箸洗、口取、硯蓋、台引、組肴、與肴、進肴、後段、肴、肴、肴、肴、肴

◇一汁四十一菜　一汁は吸物、四十一菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物、吸口、猪口、鉢肴、強肴、箸洗、口取、硯蓋、台引、組肴、與肴、進肴、後段、肴、肴、肴、肴、肴、肴

◇一汁四十三菜　一汁は吸物、四十三菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物、吸口、猪口、鉢肴、強肴、箸洗、口取、硯蓋、台引、組肴、與肴、進肴、後段、肴、肴、肴、肴、肴、肴、肴

◇一汁四十五菜　一汁は吸物、四十五菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物、吸口、猪口、鉢肴、強肴、箸洗、口取、硯蓋、台引、組肴、與肴、進肴、後段、肴、肴、肴、肴、肴、肴、肴、肴

○春の銘仙

黒は未だ廢らぬ

平常着にも外出着にも兼用になる優雅な銘仙類は地色や

△技巧の點　には春の裕著として餘程苦心して來たやうなところがあります。縞物、友禪など

色彩を一寸見ると、お召や縮緬のやうに錯覺化される位華やかで精巧な手際を見はせてゐます黒は飽かれたらしい罪もありますが、實際はまだ中々捨れず、沈んだ黒を地色にパツとした線青や紺、うす紅などを

△細い線で　配つた意氣なそして調合に派手向な縞柄など、一般向に歡迎されてゐます、縞に影暗風で大きく花鳥を飛ばしたのなど岩手のお嬢さん方には善いでせう、飛點白もいろ〳〵面白いのがありますが、此頃では定つた型のものはあまり喜ばれや嗜したのや、形をわざと違へたのや

△龜甲、井桁　などの上下を消したものなど、丸で不規律な柄が迎へられてゐます。地色は昔茶、紫、黒などが主で、紺はあまり見られません。柄の色は大抵クリーム、綠、赤などを晴れやかに現はしたものが十中の七八を占めてゐます（筆者）

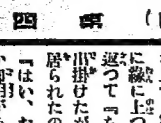
○奇問珍問百出

巡査部長の試驗

（働か大嫌ひの者も試驗を增加しては來て呉れと何うやら增員しなければならない大阪府では今回巡査部長の試驗を增加したが之れと同時に自身の部長も增員したので府警察部では目下監察官の木村察視が主任となり

◇實務を　ば縫原警視と前川警部さんが擔當して實地試驗中いるが此三試驗官は奇拔を以て聞えてゐる人なので試驗問題も從つて非常に奇拔で受驗者は何れも何處にも入つて行く、それで其間の一例を擧げると『若し子供が溺死したら何うするか』なぞと云つて來ゐ、之に對し

◇一警官　は『夫は今誰か拾つて雷に返してやつたよ』と言ひ『さう答へて及第點を貰つたさうで此他にも『猿が人間より毛が二本足りないのは何故か』なぞと急出で急奇なる問題が多く和田辰雄士が高等文官試驗の時に遜して受驗者を悩に卷いたにん穿らぬ奇問珍問が續出してゐる（ロ今日の御馳走）



▲十六日夕刊讀賣新聞

◇豚味噌油　豚の肉を角に切り、醬油、味噌、酒、砂糖を入れて煮る

◇若菜蒸し　菠薐草、蒲鉾、鶏肉、四五切れを入れて煮る

◇一品料理　一人前の料理を一皿に盛つて出すのをいふ

◇一汁三菜　一汁は吸物、三菜は香の物、煮物、焼物

◇一汁五菜　一汁は吸物、五菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物

◇一汁七菜　一汁は吸物、七菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物、吸口

◇一汁九菜　一汁は吸物、九菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物、吸口、猪口

◇一汁十一菜　一汁は吸物、十一菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物、吸口、猪口、鉢肴

◇一汁十三菜　一汁は吸物、十三菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物、吸口、猪口、鉢肴、強肴

◇一汁十五菜　一汁は吸物、十五菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物、吸口、猪口、鉢肴、強肴、箸洗

◇一汁十七菜　一汁は吸物、十七菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物、吸口、猪口、鉢肴、強肴、箸洗、口取

◇一汁十九菜　一汁は吸物、十九菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物、吸口、猪口、鉢肴、強肴、箸洗、口取、硯蓋

◇一汁二十一菜　一汁は吸物、二十一菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物、吸口、猪口、鉢肴、強肴、箸洗、口取、硯蓋、台引

◇一汁二十三菜　一汁は吸物、二十三菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物、吸口、猪口、鉢肴、強肴、箸洗、口取、硯蓋、台引、組肴

◇一汁二十五菜　一汁は吸物、二十五菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物、吸口、猪口、鉢肴、強肴、箸洗、口取、硯蓋、台引、組肴、與肴

◇一汁二十七菜　一汁は吸物、二十七菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物、吸口、猪口、鉢肴、強肴、箸洗、口取、硯蓋、台引、組肴、與肴、進肴

◇一汁二十九菜　一汁は吸物、二十九菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物、吸口、猪口、鉢肴、強肴、箸洗、口取、硯蓋、台引、組肴、與肴、進肴、後段

◇一汁三十一菜　一汁は吸物、三十一菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物、吸口、猪口、鉢肴、強肴、箸洗、口取、硯蓋、台引、組肴、與肴、進肴、後段、肴

◇一汁三十三菜　一汁は吸物、三十三菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物、吸口、猪口、鉢肴、強肴、箸洗、口取、硯蓋、台引、組肴、與肴、進肴、後段、肴、肴

◇一汁三十五菜　一汁は吸物、三十五菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物、吸口、猪口、鉢肴、強肴、箸洗、口取、硯蓋、台引、組肴、與肴、進肴、後段、肴、肴、肴

◇一汁三十七菜　一汁は吸物、三十七菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物、吸口、猪口、鉢肴、強肴、箸洗、口取、硯蓋、台引、組肴、與肴、進肴、後段、肴、肴、肴、肴

◇一汁三十九菜　一汁は吸物、三十九菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物、吸口、猪口、鉢肴、強肴、箸洗、口取、硯蓋、台引、組肴、與肴、進肴、後段、肴、肴、肴、肴、肴

◇一汁四十一菜　一汁は吸物、四十一菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物、吸口、猪口、鉢肴、強肴、箸洗、口取、硯蓋、台引、組肴、與肴、進肴、後段、肴、肴、肴、肴、肴、肴

◇一汁四十三菜　一汁は吸物、四十三菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物、吸口、猪口、鉢肴、強肴、箸洗、口取、硯蓋、台引、組肴、與肴、進肴、後段、肴、肴、肴、肴、肴、肴、肴

◇一汁四十五菜　一汁は吸物、四十五菜は香の物、煮物、焼物、酢の物、和へ物、吸口、猪口、鉢肴、強肴、箸洗、口取、硯蓋、台引、組肴、與肴、進肴、後段、肴、肴、肴、肴、肴、肴、肴、肴

○春の銘仙

黒は未だ廢らぬ

平常着にも外出着にも兼用になる優雅な銘仙類は地色や

△技巧の點　には春の裕著として餘程苦心して來たやうなところがあります。縞物、友禪など

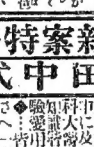
色彩を一寸見ると、お召や縮緬のやうに錯覺化される位華やかで精巧な手際を見はせてゐます黒は飽かれたらしい罪もありますが、實際はまだ中々捨れず、沈んだ黒を地色にパツとした線青や紺、うす紅などを

△細い線で　配つた意氣なそして調合に派手向な縞柄など、一般向に歡迎されてゐます、縞に影暗風で大きく花鳥を飛ばしたのなど岩手のお嬢さん方には善いでせう、飛點白もいろ〳〵面白いのがありますが、此頃では定つた型のものはあまり喜ばれや嗜したのや、形をわざと違へたのや

△龜甲、井桁　などの上下を消したものなど、丸で不規律な柄が迎へられてゐます。地色は昔茶、紫、黒などが主で、紺はあまり見られません。柄の色は大抵クリーム、綠、赤などを晴れやかに現はしたものが十中の七八を占めてゐます（筆者）

○呉服屋で大成功

女の生命



一婦人が毛のない人が大流行の田中醫學博士の實驗により毛の生えた奇藥は專門の田中博士の實驗により毛の生えた奇藥は專門の田中博士の實驗により毛の生えた奇藥は專門の田中